

資料No.1-1

統計データ分析

本書の構成

まち・ひと・しごとの3要素で名護市の状況を整理する。

【I. まち】地理情報・施設立地状況・インフラ老朽化・移動実態

- 名護市5地区の特徴
- 土地の利用状況
- 橋梁の老朽化
- 公共施設全体の更新費用
- 自動車の利用状況
- 公共交通空白地域

【II. ひと】人口・世帯の状況

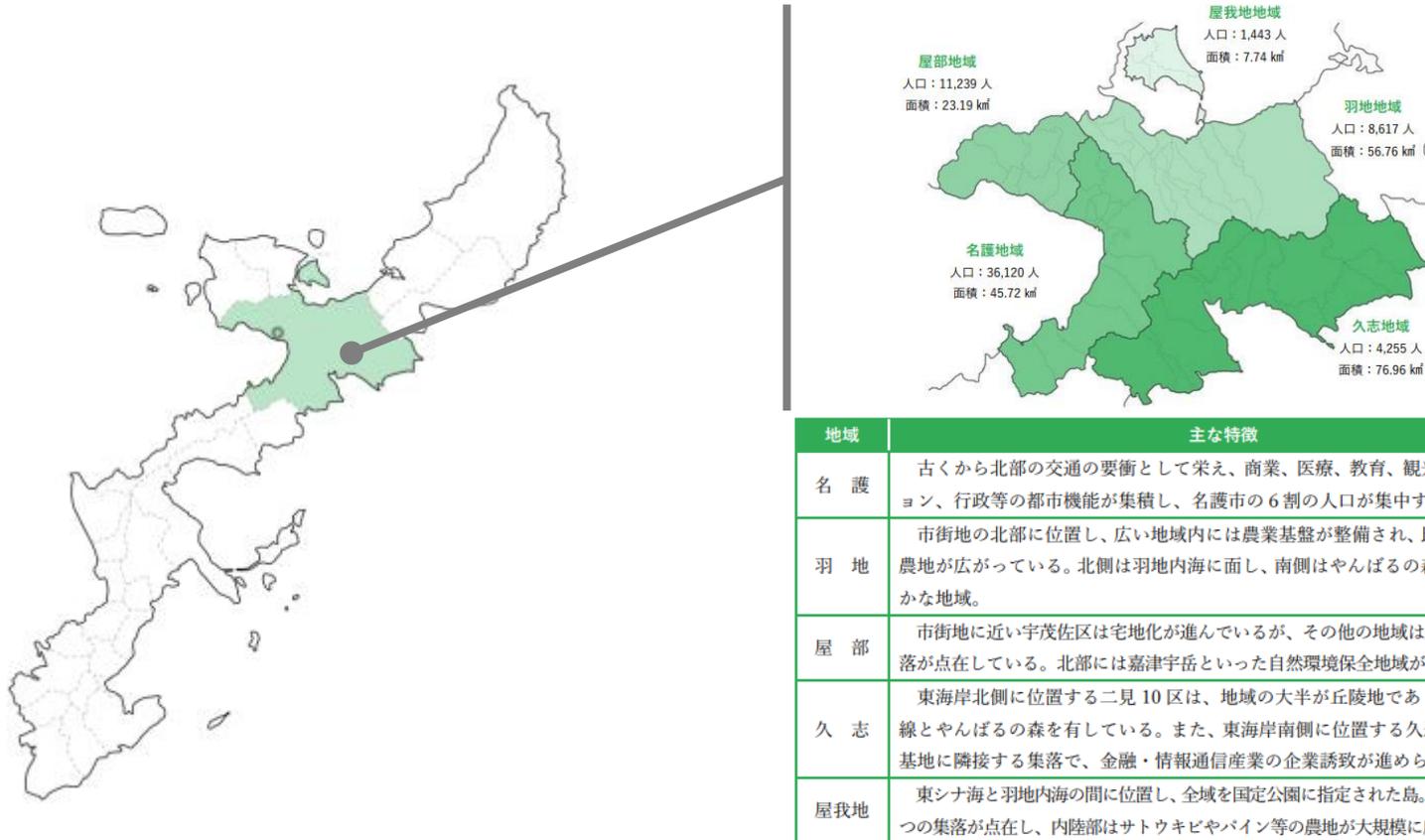
- 人口の推移と将来推計
- 年齢3区分別人口の推移
- 人口ピラミッドの推移
- 転出・転入の推移
- 年齢階層別転出・転入の推移
- 出生・死亡数の推移
- 合計特殊出生率
- 市街地周辺の人口増減率

【III. しごと】就労の状況・産業の状況

- 就業者人口の推移
- 就業者率の推移
- 完全失業率の推移
- 産業別就業者比率の状況
- 産業分類別就業者と特化係数
- 事業所数の推移
- 金融業・情報通信業の雇用者数及び企業数
- 観光客の名護市内での滞在時間

地理情報—名護市5地区の特徴—

名護市は、沖縄本島の北部に位置しており、那覇市から約 64 kmの距離に位置する。旧町村単位である名護・羽地・屋部・久志・屋我地の5地域は、それぞれ個性的な地域特性があり、豊かで魅力的な地域資源を有する。

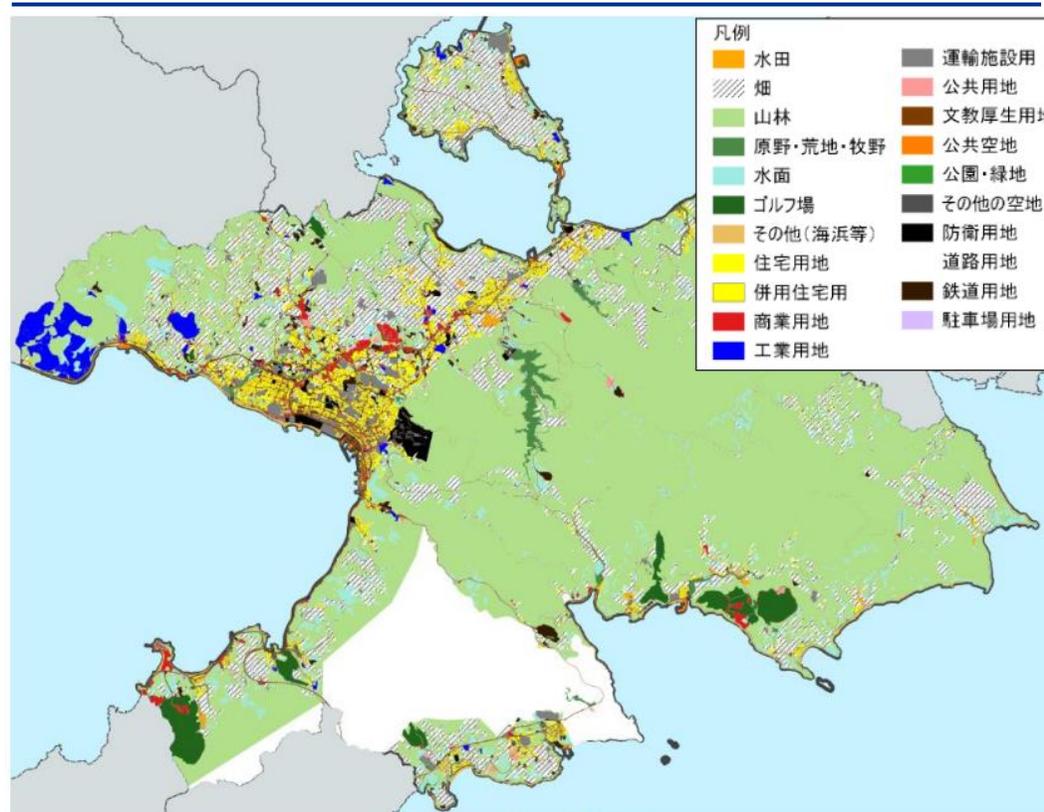


出典：第5次名護総合計画（資料編） <https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2020033100025/>

施設立地状況等 -土地の利用状況-

市街地及び国道沿いに商業用地や住宅用地が集積しており、市西部では工業用地の集積がみられる。一方、市北部では畑、市東部では山林が広がっており、全域で土地の利用傾向が異なっている。

名護市の土地利用状況

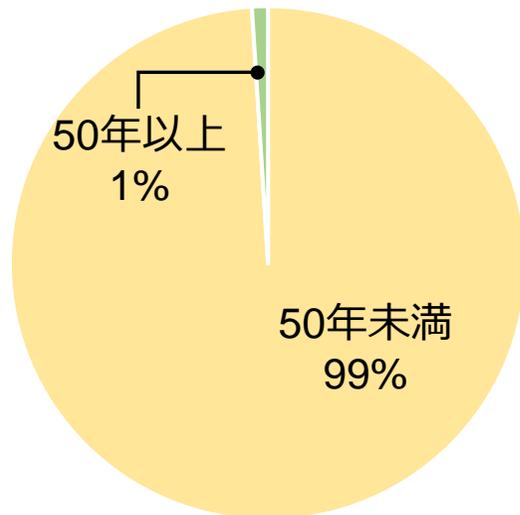


出典：名護市地域公共交通計画（案）（令和4年2月） https://www.city.nago.okinawa.jp/articles/2022022200037/file_contents/gaiyou.pdf

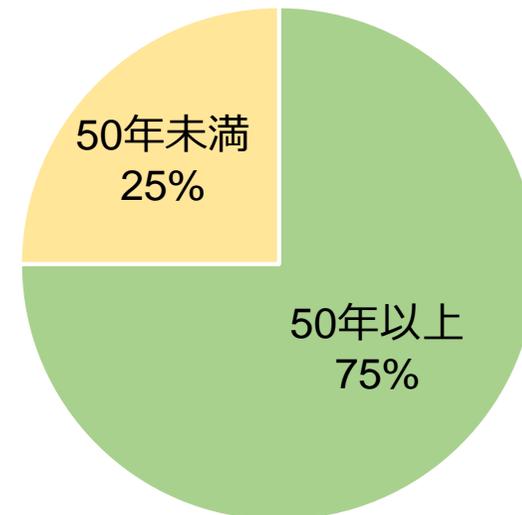
インフラ老朽化 - 橋梁の老朽化 -

名護市が管理する橋梁の建設後50年以上経過する割合は、平成25年度は1%程度だったものの、20年後の令和15年度には75%まで増加することが予想されている。

橋梁の老朽化の割合(平成25年度)



橋梁の老朽化の割合(令和15年度)

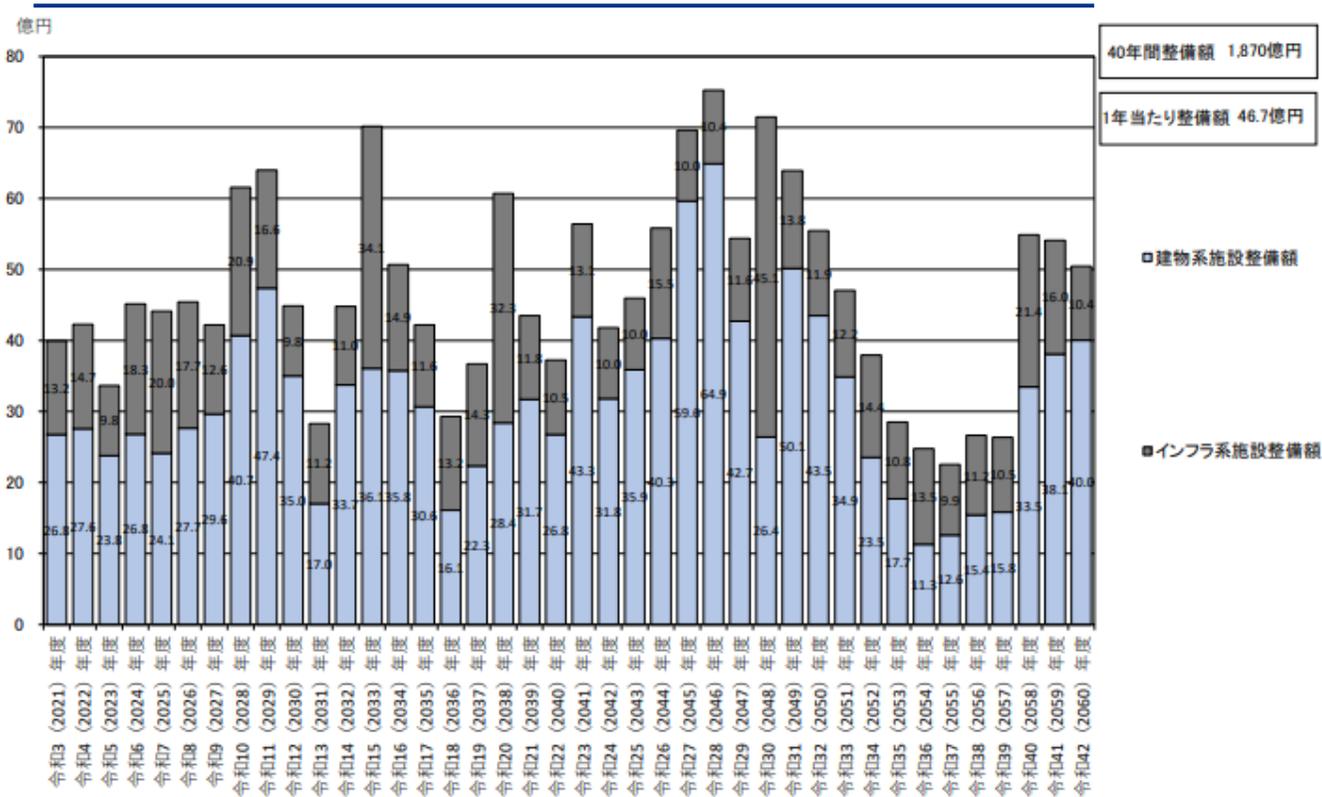


出典：名護市 橋梁長寿命化修繕計画 [1kyouryouchoujumyouka2504-cleaned.pdf \(city.nago.okinawa.jp\)](https://www.city.nago.okinawa.jp/kyouryouchoujumyouka2504-cleaned.pdf)

インフラ老朽化 - 公共施設全体の更新費用 -

名護市が現在所有する建物系施設及びインフラ系施設をすべて維持するため、現状規模のまま更新を行った場合、今後40年間で約1,870億円の投資的経費を要し、年平均にすると1年あたり46.7億円かかる試算されている。

公共施設全体の施設長寿命化型更新費用

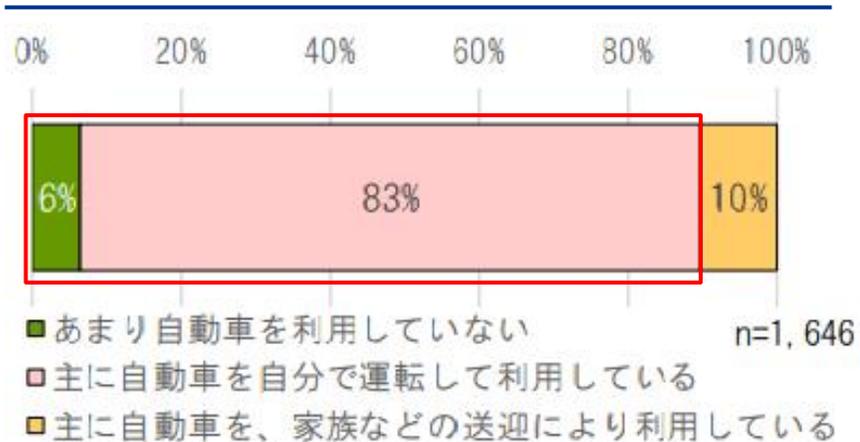


出典：名護市公共施設等総合管理計画（令和4年3月改訂） [kaiteiban.pdf \(city.nago.okinawa.jp\)](https://www.city.nago.okinawa.jp/kaiteiban.pdf)

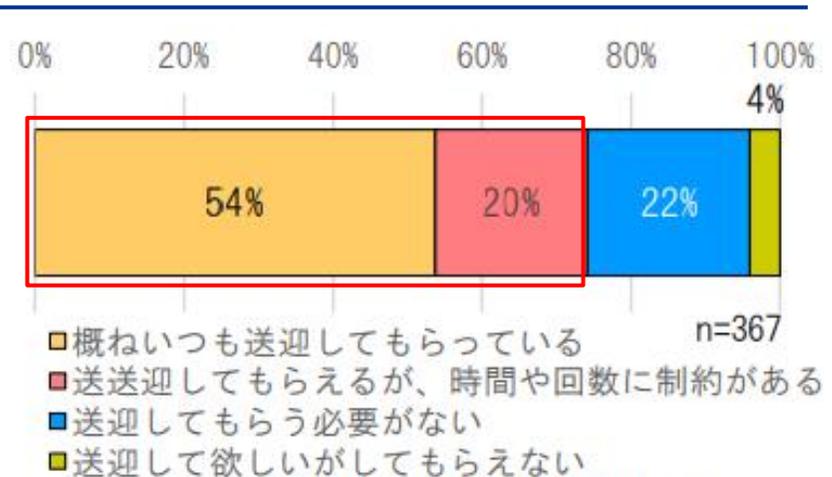
移動実態 -自動車の利用状況-

名護市民の約 9 割が自動車による移動を主としており、学生の通学も約 7 割が自動車による送迎となっており、自動車への依存が高くなっている。

自動車の利用状況



高校生の通学時の送迎状況

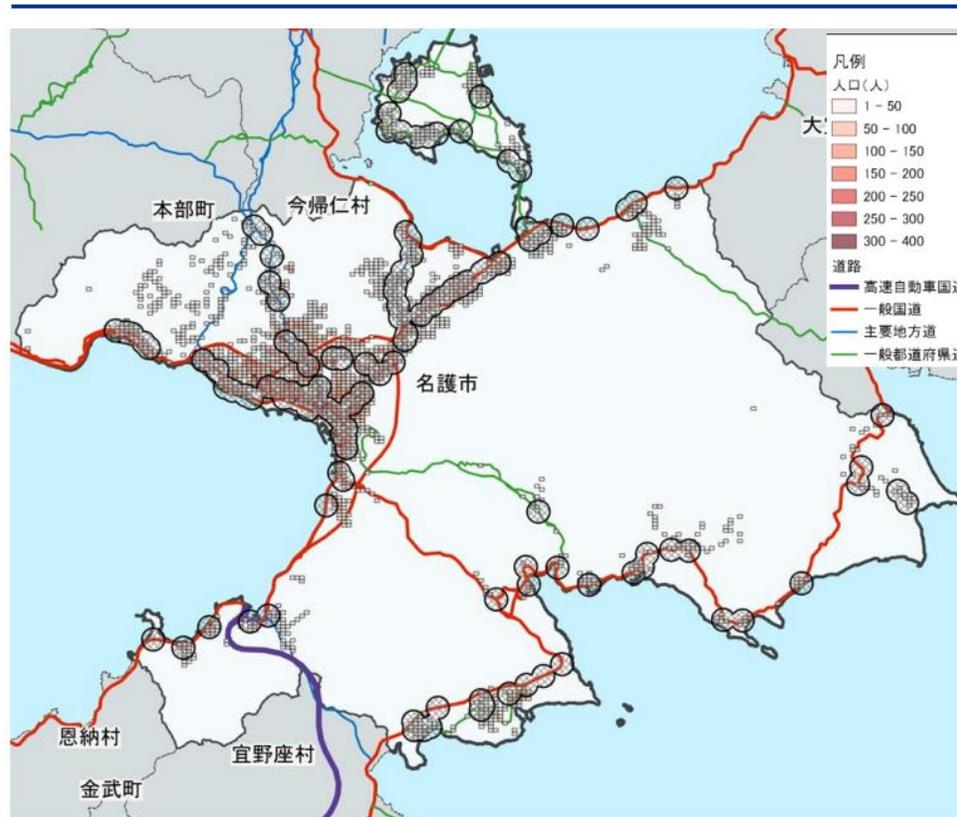


出典：名護市地域公共交通計画（案）（令和4年2月） https://www.city.nago.okinawa.jp/articles/2022022200037/file_contents/gaiyou.pdf

移動実態—公共交通空白地域—

名護市内の公共交通人口カバー率は、市全体で約64%となっており、市街地地域の東部、北部を中心に一定の人口集積が見られるエリアにも公共交通空白地域が存在する。

公共交通空白地域の状況

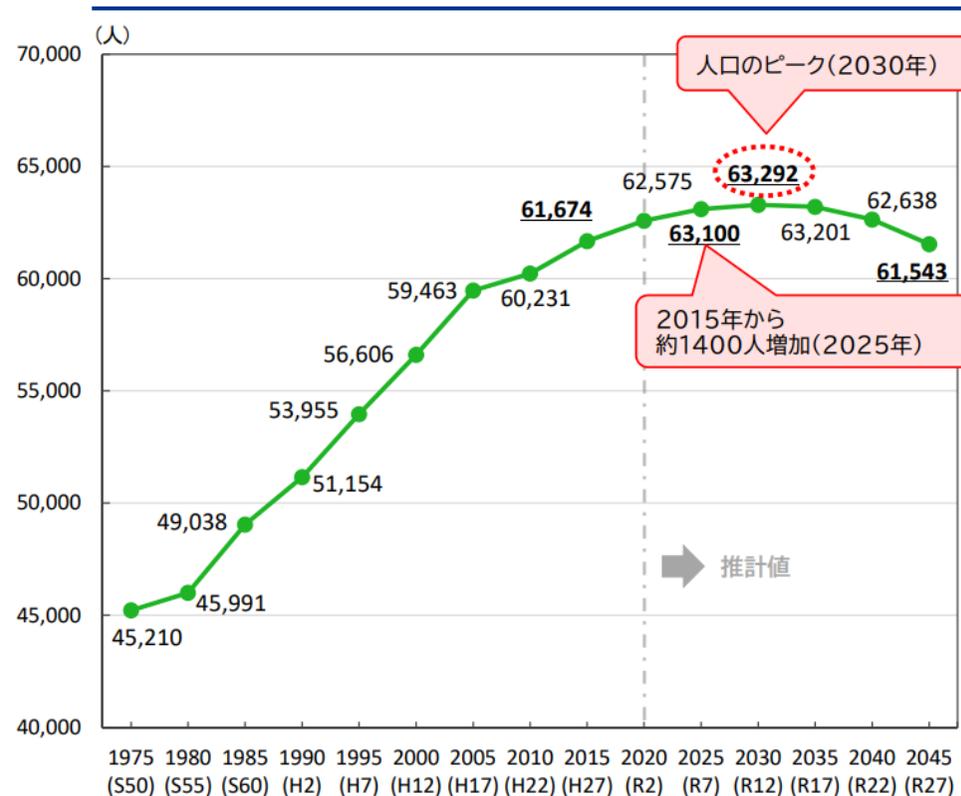


出典：名護市地域公共交通計画（案）（令和4年2月） https://www.city.nago.okinawa.jp/articles/2022022200037/file_contents/gaiyou.pdf

人口・世帯の状況 -人口の推移と将来推計-

名護市の総人口は、昭和50年以降増加を続けており、令和2年時点で62,575人となっている。ただ令和12年をピークに減少に転じるとされており、令和27年では61,543まで減少することが推測されている。

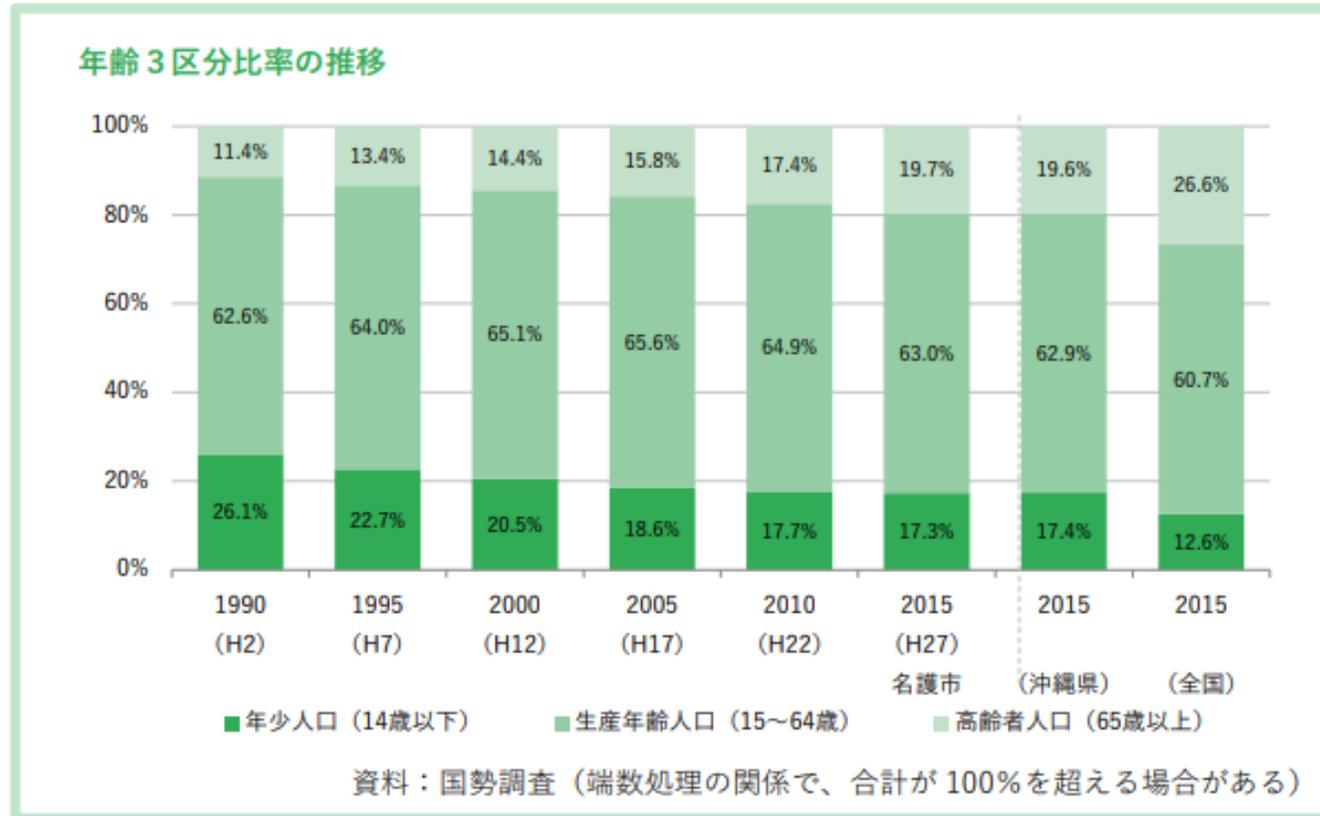
人口の推移と将来推計



出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略 https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2022040100043/file_contents/03.pdf

人口・世帯の状況 -年齢3区分別人口の推移-

年齢構成の推移では、平成2年は年少人口(14歳以下)が26.1%、高齢者人口(65歳以上)が11.4%だったものが、平成27年には年少人口が17.3%、高齢者人口が19.7%と、全国よりも遅いペースで少子高齢化が進行している。



出典：第5次名護総合計画（資料編） <https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2020033100025/>

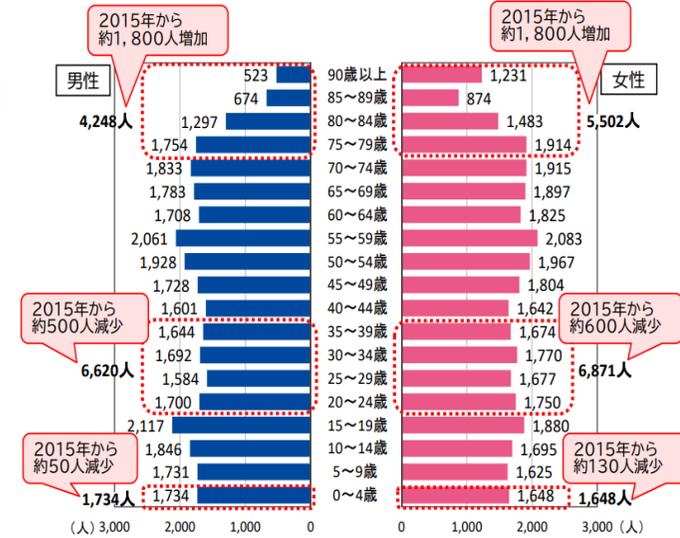
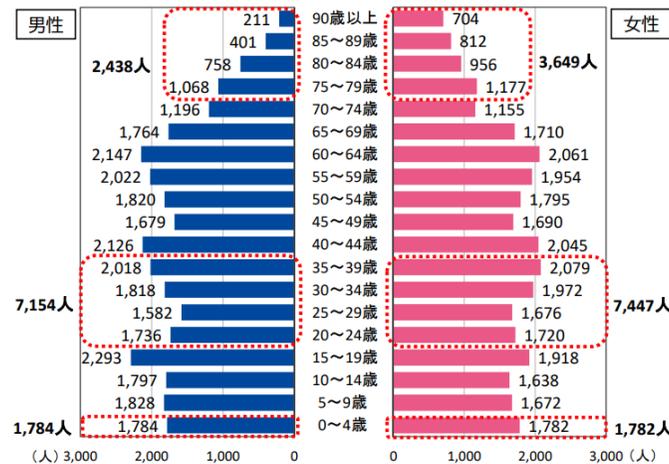
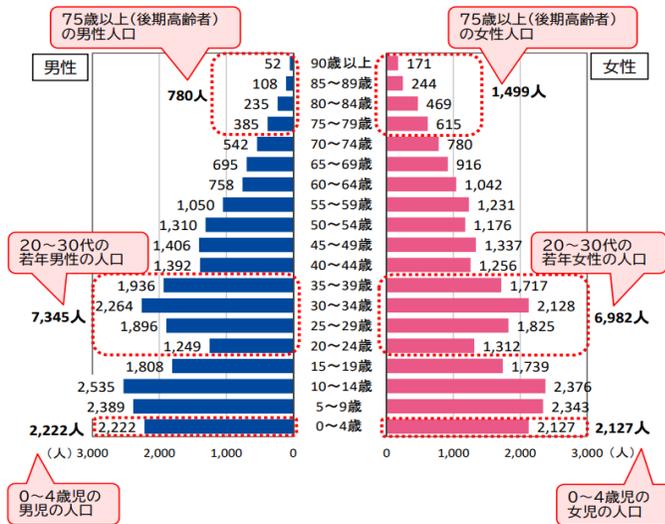
人口・世帯の状況 -人口ピラミッドの推移-

人口ピラミッドの推移では、昭和60年には、年少人口が多く老年人口が少ない「ピラミッド型」であったものが、平成27年の「釣鐘型」を経て、令和12年にはさらに老年人口が増加すると予測される。

人口ピラミッド(昭和60年)

人口ピラミッド(平成27年)

人口ピラミッド(令和12年)

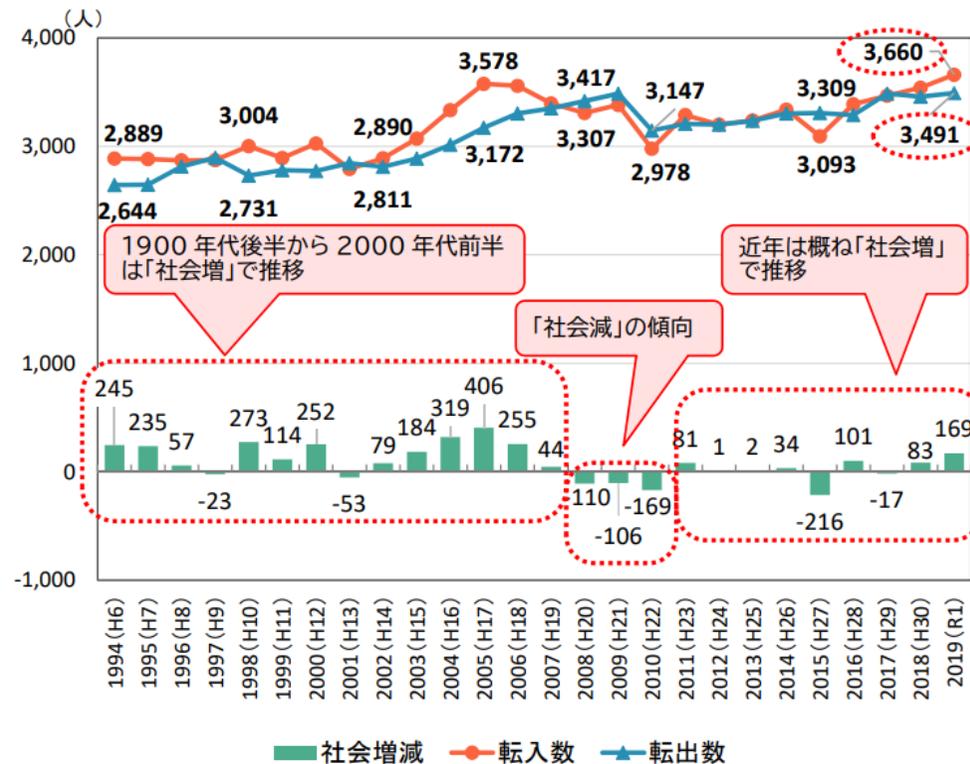


出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略 https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2022040100043/file_contents/03.pdf

人口・世帯の状況 - 転出・転入の推移 -

転入・転出の推移を見ると、平成6年以降はおおむね社会増で推移し、平成20年から平成22年までは社会減の傾向がみられたものの、平成23年以降は引き続き社会増で推移している。

転入・転出数の推移

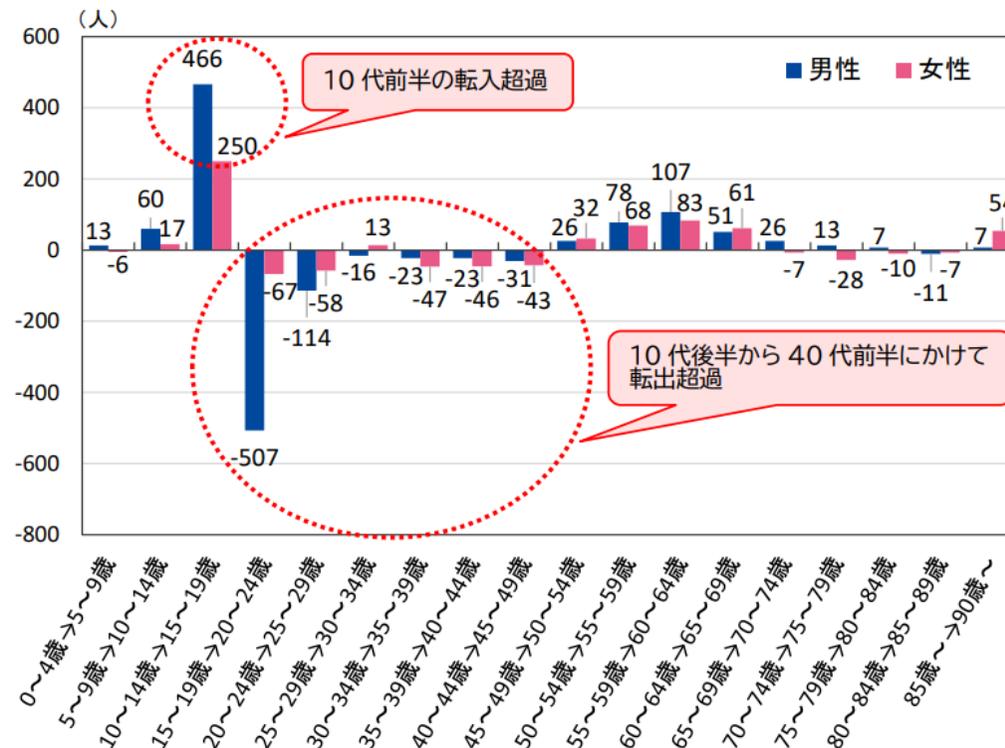


出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略 https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2022040100043/file_contents/03.pdf

人口・世帯の状況 -年齢階層別転出・転入の推移-

『10～14歳→15～19歳』の転入超過、『15～19歳→20～24歳』で転出超過が見られ、転出超過は『40～44歳→45～49歳』にかけて続く。特に、10代後半男性で転出が多く、高校や大学への進学に伴って市外・県外に流出した人口の回復に至っていない状況である。

年齢階層別人口移動の状況

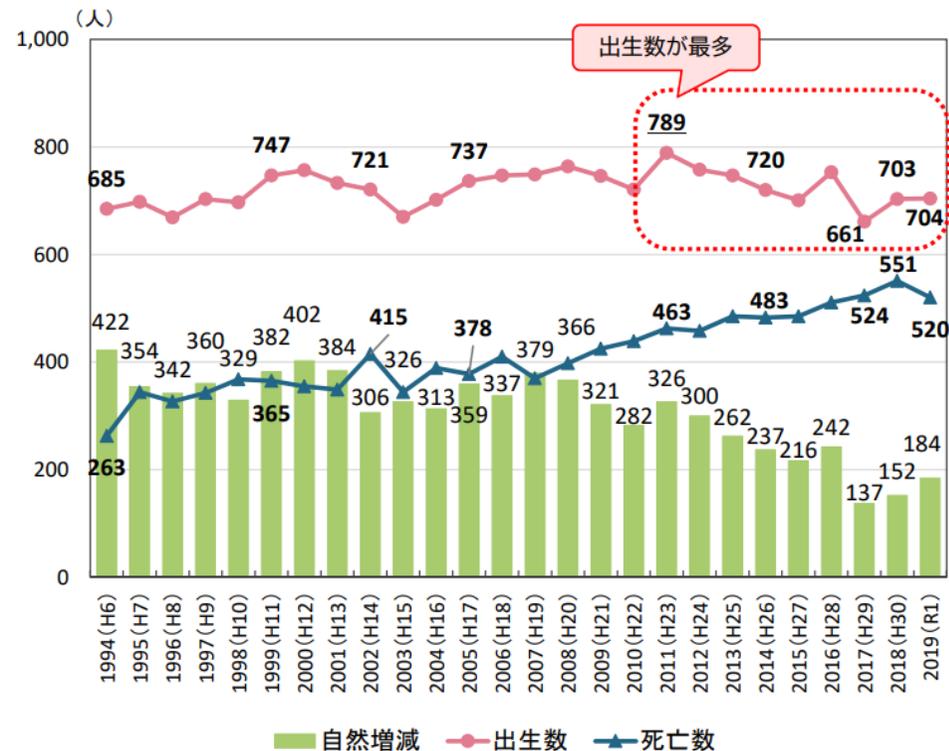


出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2021061000028/file_contents/jinnkoubijyon.pdf

人口・世帯の状況 -出生・死亡数の推移-

出生・死亡数の推移を見ると、出生数は近年若干減少傾向にあるものの、トータルで見ると常に自然増の状態で見られる。

出生・死亡数の推移

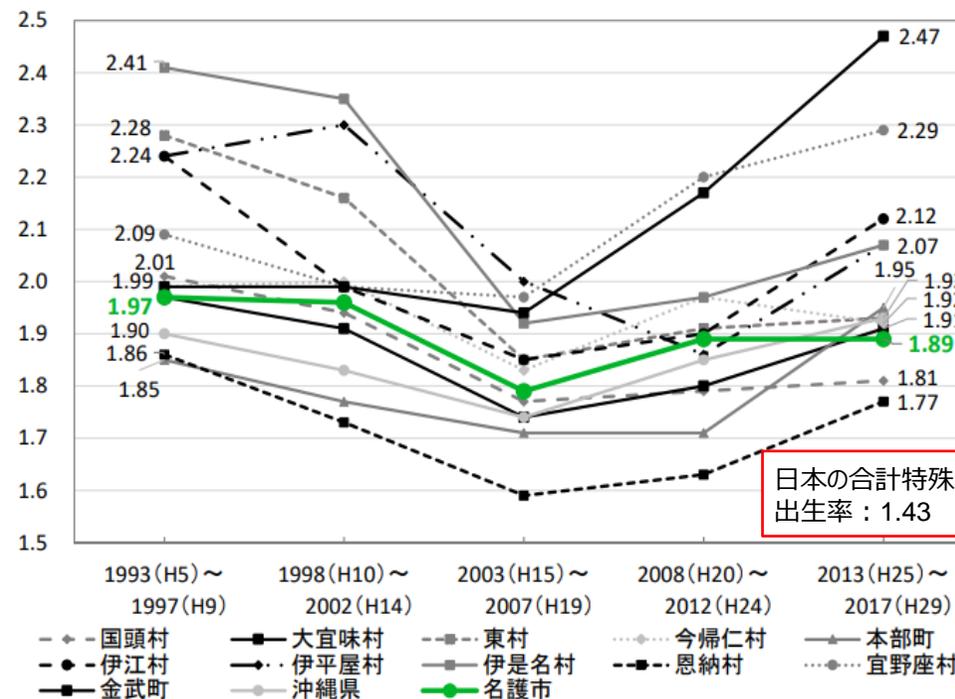


出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略 https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2022040100043/file_contents/03.pdf

人口・世帯の状況 -合計特出生率-

合計特殊出生率は平成25-平成29年で1.89であり、沖縄県全体と比較すると若干低いものの、全国平均(1.43)*1を大きく上回る値を維持している。

合計特殊出生率の推移



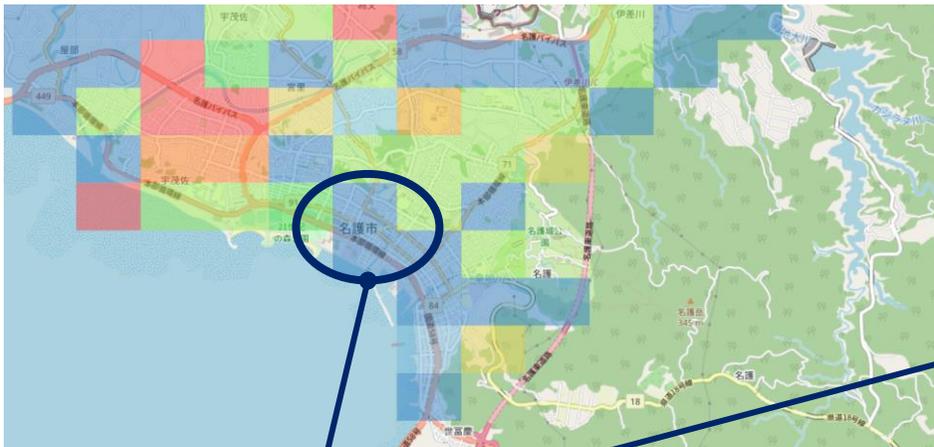
*1：平成29年における日本の合計特殊出生率 (厚生労働省HP 図表1-1-7 出生数、合計特殊出生率の推移 | 令和2年版厚生労働白書)

出典：第2期名護市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン総合戦略 https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2022040100043/file_contents/03.pdf

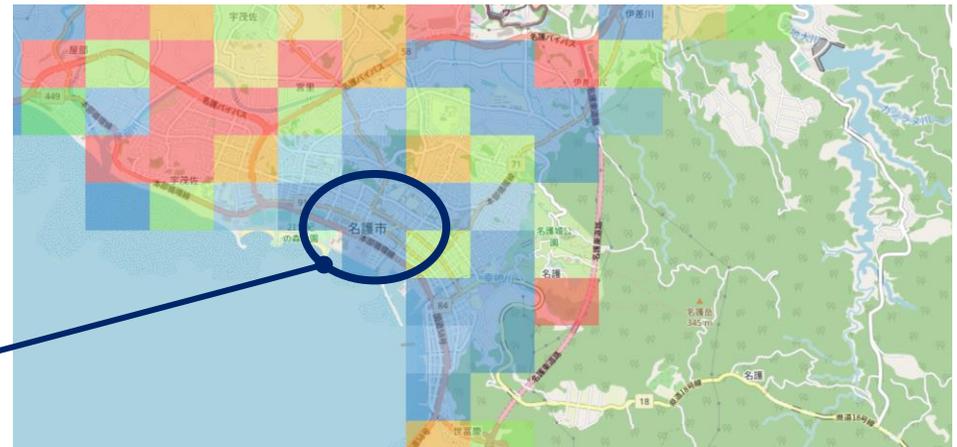
人口・世帯の状況 -市街地周辺の人口増減率-

市街地周辺の人口増減率を年度別に見ると、2010年度、2015年度、2020年度のいずれの年度においてもマイナスとなっており、市街地からの人口流出が続いている。

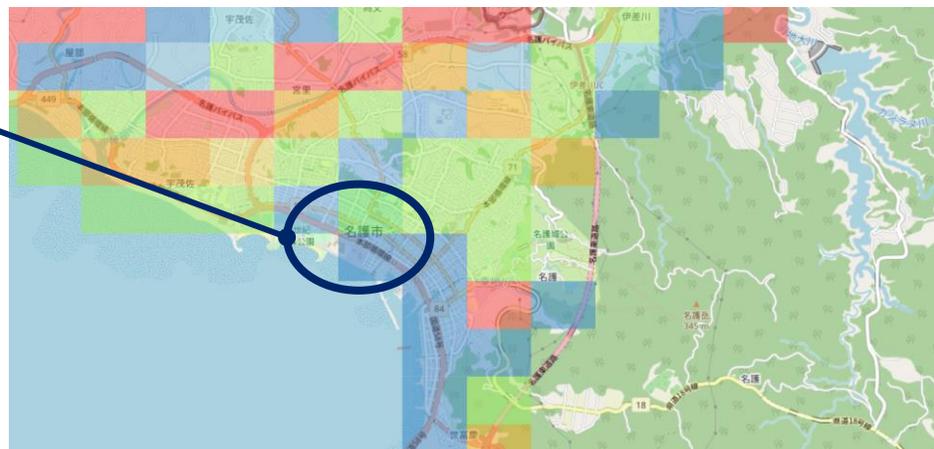
2010年度の人口増減率



2015年度の人口増減率



2020年度の人口増減率



いずれの年度においても、市街地の人口は減少傾向にある

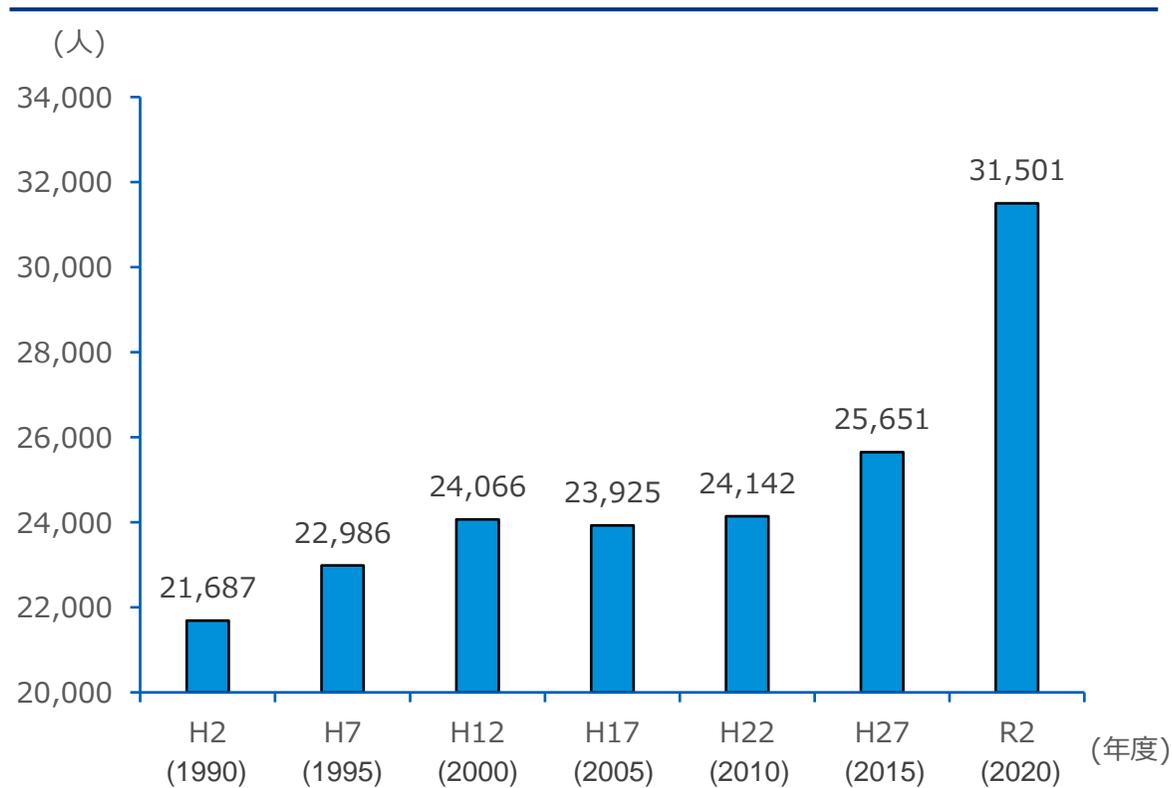
出典：RESAS（地域経済分析システム）-人口増減率-



就労の状況 - 就業者人口の推移 -

名護市の就業人口は令和2年において、31,501人である。平成12年から平成27年までは、平成17年を除いて就業人口はほとんど変動がなかったが、平成27年から令和2年にかけて5850人増加している。

就業者人口の推移

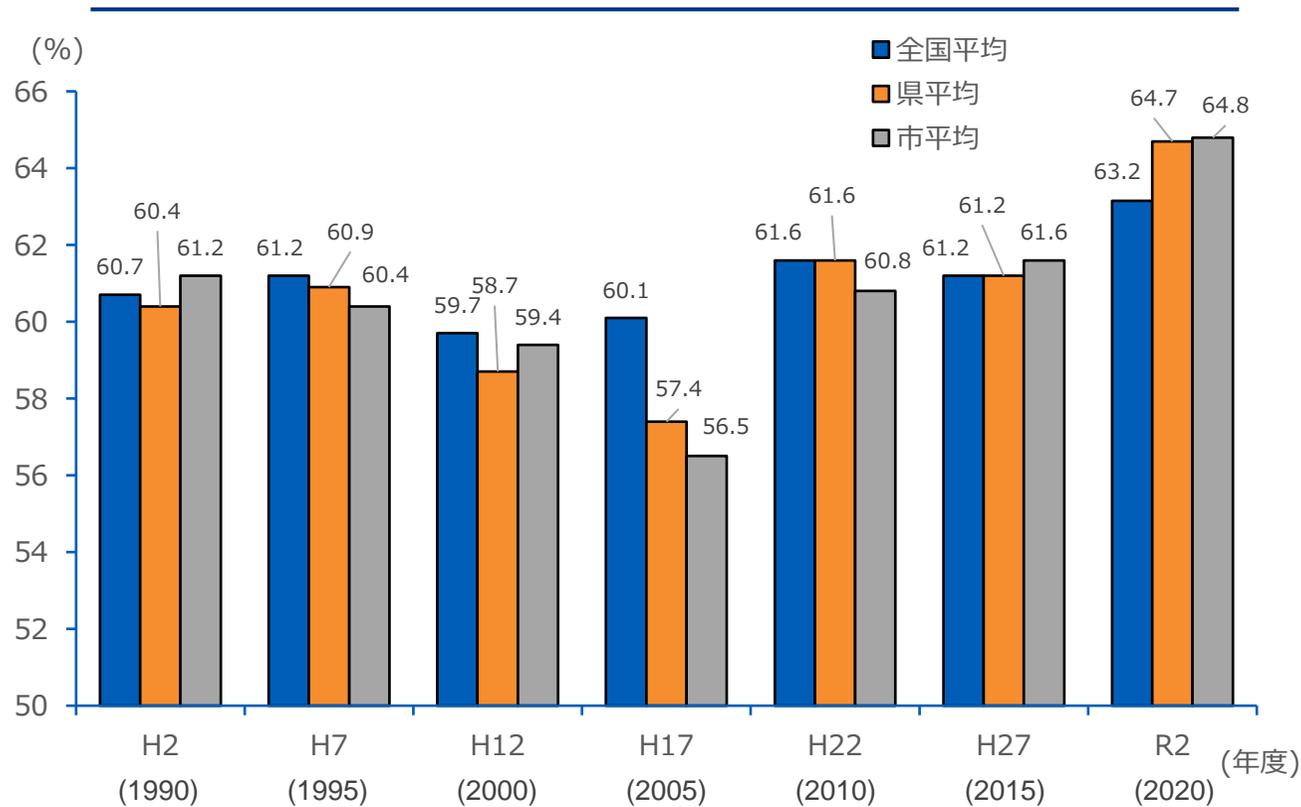


出典：令和二年度国勢調査 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003433219>

就労の状況 - 就業者率の推移 -

平成22年度まで、名護市の就業者率は県平均・全国平均を下回っていたが、平成27年度に逆転。令和2年の名護市の就業者率は64.8%となっており、全国の就業者率63.2%、沖縄県の就業者率64.7%を上回っている。

全国・沖縄県・名護市の就業者率の推移

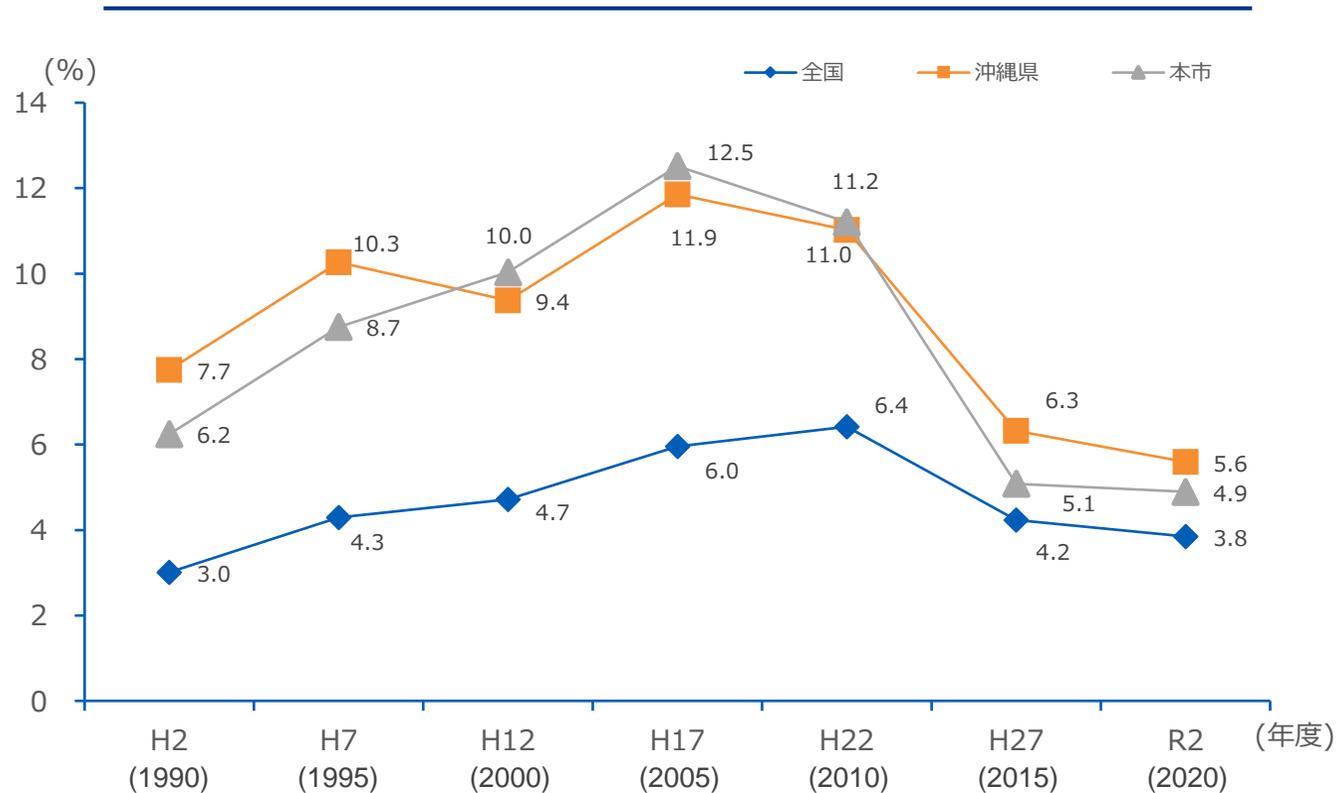


出典：令和二年度国勢調査 <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003433219>

就労の状況 -完全失業率の推移-

名護市の完全失業率は平成2年以降、一貫して全国の完全失業率より高い数値で推移している。令和2年の完全失業率は4.9%であり、平成22年よりも6.3%と大幅に低下しており、全国と本市の差は1.1%まで縮小している。

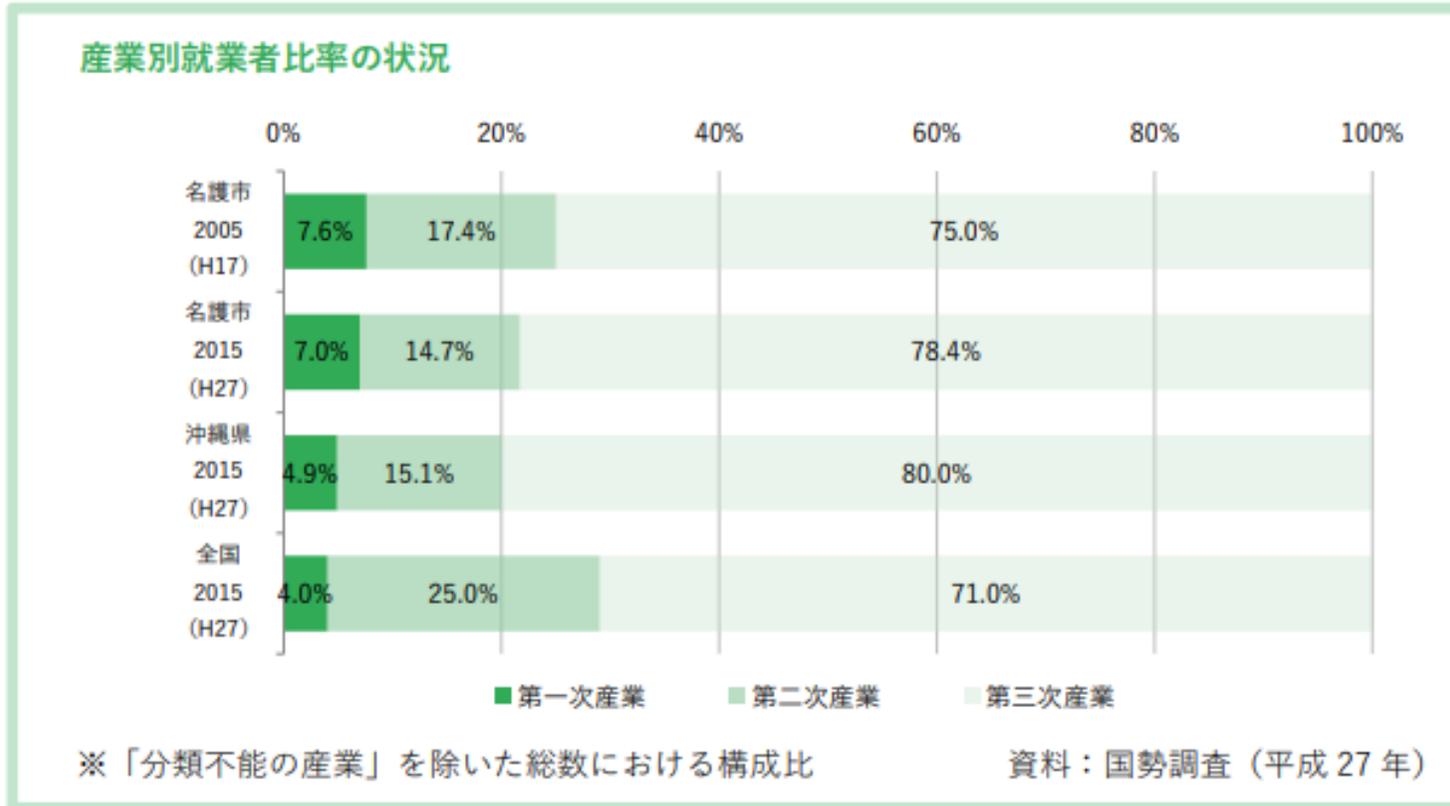
全国・沖縄県・名護市の完全失業率の推移



出典：国勢調査(平成2～令和2年度) https://www.pref.okinawa.jp/toukeika/lfs/lfs_index.html

産業の状況 - 産業別就業者比率の状況 -

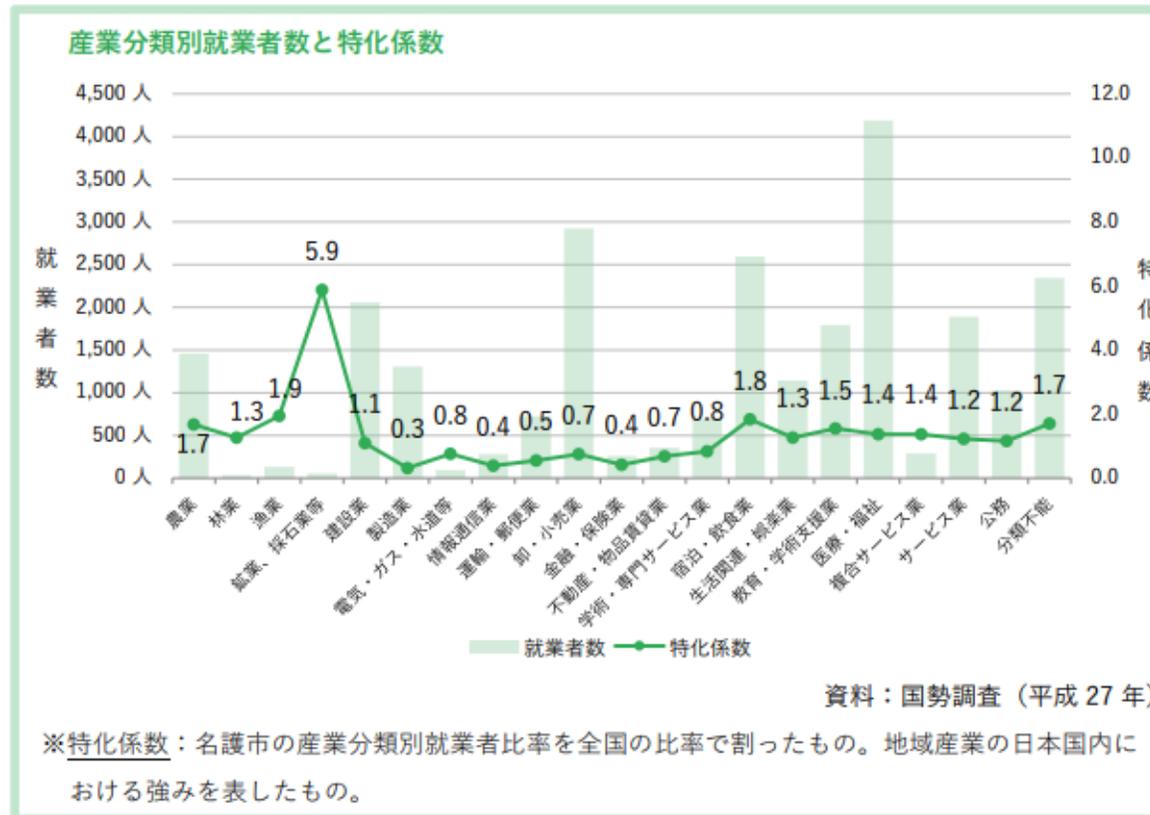
名護市の産業別就業者比率を沖縄県及び全国と比較すると、第一次産業の割合が沖縄県及び全国を上回っている。



出典：第5次名護総合計画（資料編） <https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2020033100025/>

産業の状況 –産業分類別就業者数と特化係数–

産業別就業者数において、全体の中で医療・福祉や卸・小売業、宿泊・飲食業で就業者数が多い。特化係数においては、製造業、情報通信業等8つの産業において1.0を下回っている。

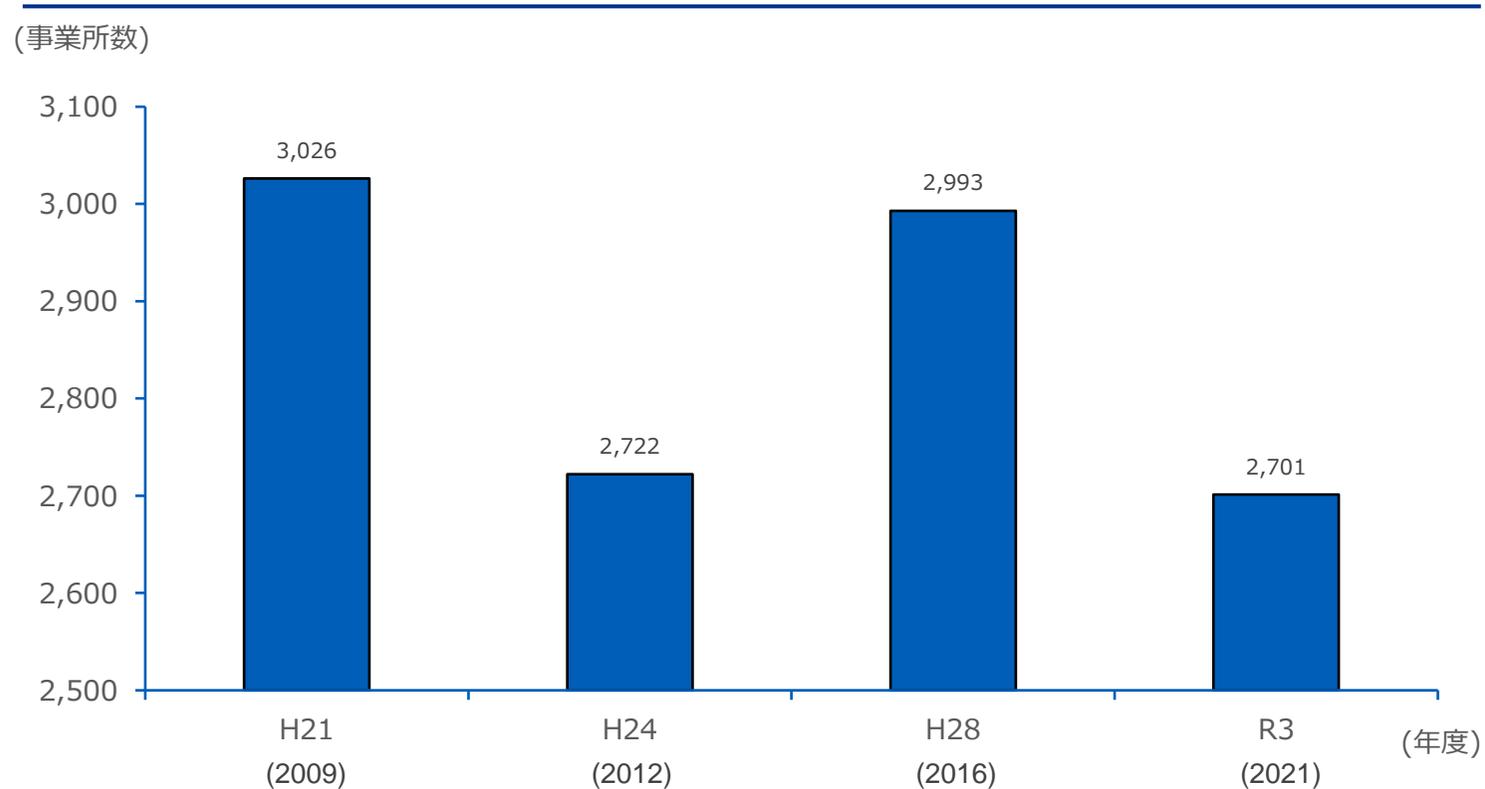


出典：第5次名護総合計画（資料編） <https://www.city.nago.okinawa.jp/machidukuri/2020033100025/>

産業の状況 -事業所数の推移-

名護市の事業所数は、平成21年度から増減を繰り返しており、2,700～3,000事業所程度で推移している。令和3年度は平成28年度と比較して292事業所数減少し2701事業所数となっている。

事業所数の推移

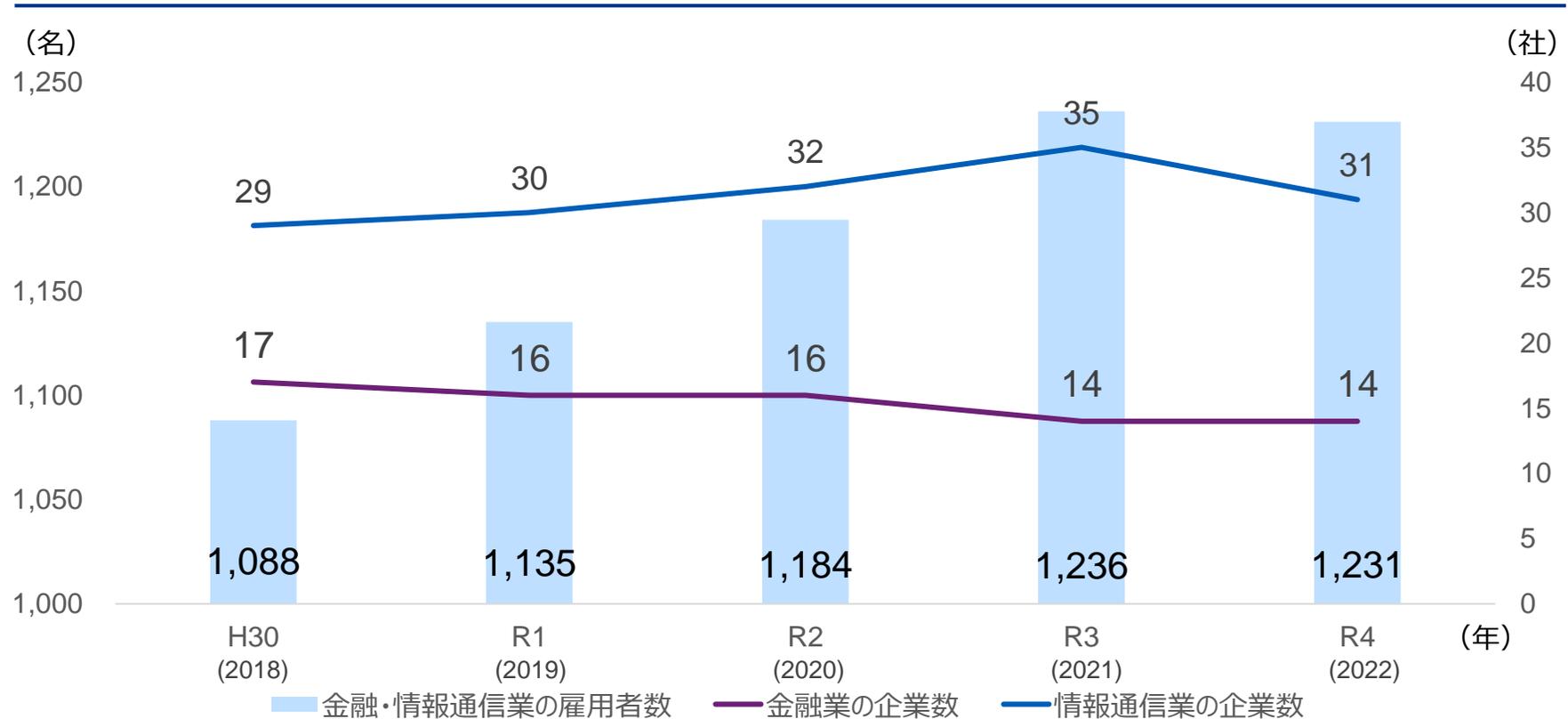


出典：経済センサス (平成21～令和3年度) <https://www.stat.go.jp/data/e-census/2021/index.html>

産業の状況 -金融業・情報通信業の雇用者数及び企業数-

金融・情報通信業の雇用者数は平成30年から令和4年にかけて増加傾向にあり、143名増加している。金融業の企業数は17社から14社に減少している一方、情報通信業の企業数は29社から31社に増加している。

金融業・情報通信業の企業数、雇用者数の推移

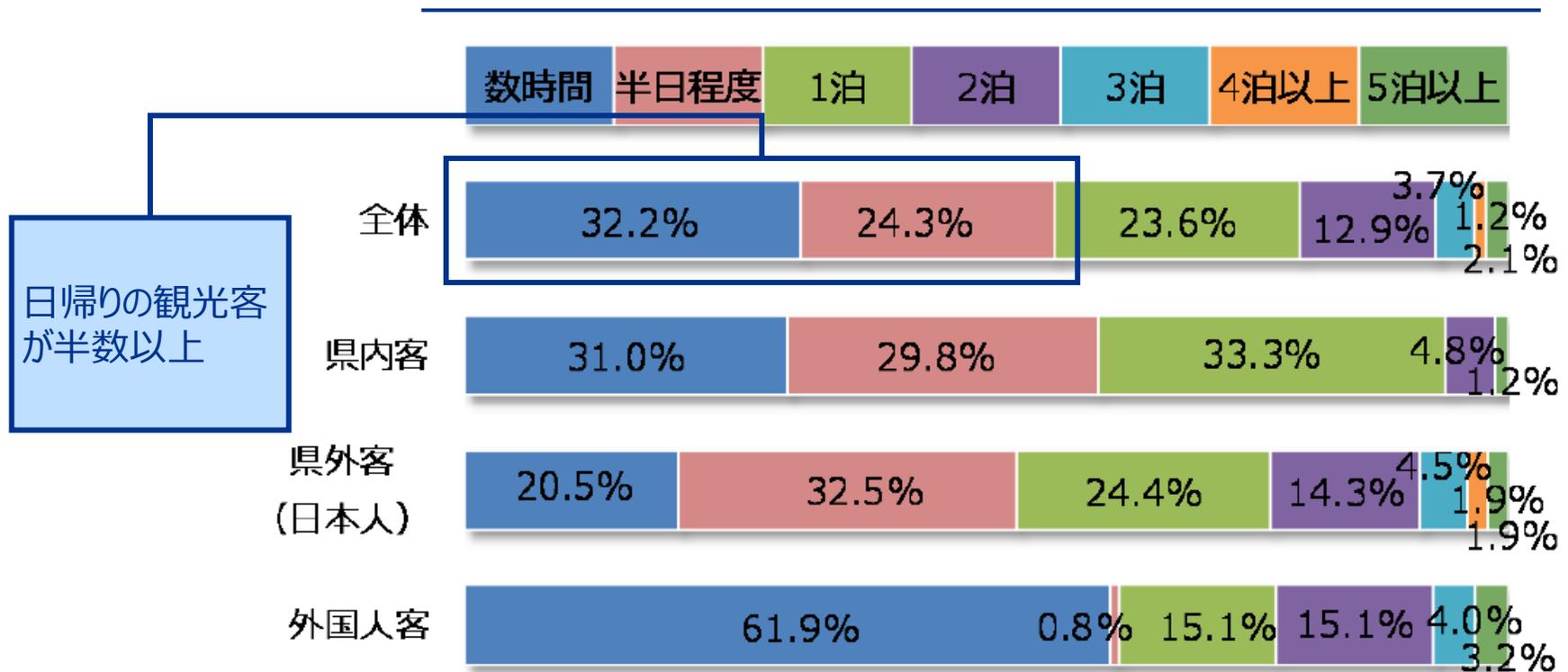


出典：名護市資料

産業の状況 –観光客の名護市内での滞在時間–

観光客の名護市内での滞在時間は、「数時間」が32.2%と最も多く、「日帰り（数時間＋半日程度）」が56.5%と半数以上を占めており、名護市内を目的として宿泊する観光客が少ない状況がうかがえる。

観光客の名護市内での滞在時間



日帰りの観光客
が半数以上

[回答者数：518]

出典：第2次名護市観光振興基本計画策定業務に向けた検証及び成果指標策定業務 報告書

<https://www.city.nago.okinawa.jp/kurashi/2019062400077/>